

## 表紙等・目次

権利	Copyrights 日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア 経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) <a href="http://www.ide.go.jp">http://www.ide.go.jp</a>
雑誌名	アジ研ワールド・トレンド
巻	134
発行年	2006-11
出版者	日本貿易振興機構アジア経済研究所
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2344/00005359">http://hdl.handle.net/2344/00005359</a>

# アジア研 ワールド・トレンド

発展途上国の明日を展望する分析情報誌

# 11

2006

## 第134号

特集●

メコン地域開発の現状と展望

分析レポート●

イラクのスナ派武装闘争組織と政治プロセス



## CONTENTS

- 1 巻頭エッセイ   メコン地域開発プログラムの淵源と意義   吉田恒昭

## 特集   メコン地域開発の現状と展望

- 2 ●特集にあたって—国境を越える自由なヒトとモノの移動を求めて   石田正美  
4 ●大メコン圏経済協力プログラムの概要とその有効性   石田正美  
8 ●カンボジア—南部経済回廊と国境地域の経済開発   初鹿野直美  
12 ●ラオス—南北・東西経済回廊のインパクト   ケオラ・スックニラン  
16 ●ミャンマー—停滞する中央、成長する国境地域   工藤年博  
20 ●タイ—近隣諸国のインフラ開発に対する積極的な協力   恒石隆雄  
24 ●ベトナム—三つの経済回廊と北部・中部・南部の開発   石田暁恵  
28 ●中国—雲南省と広西チワン族自治区におけるメコン地域開発への関与   朱 振明

- 32 現地レポート   **北部ウガンダ紛争とアチョリ地域における共同体浄化儀式**   榎本珠良

- 36 分析レポート   **イラクのスナ派武装闘争組織と政治プロセス**   渡邊正晃

- 44 フォト・エッセイ   **イラク・クルディスタン—戦後復興に沸くもう一つのイラク**   岸田圭司

- 48 カルチャー・ショック

外国人のみた日本   滞在を通して理解できたこと   ショルバン・ガイナ  
日本人のみた外国   花束とチョコレート—南米で快適に過ごす必須アイテム(?)   上谷直克

- 50 ブックシェルフ

新刊紹介／藤田麻衣編『移行期ベトナムの産業変容—地場企業主導による発展の諸相』   藤田麻衣  
レファレンスコーナー／中国の朝鮮族を知る   狩野修二

- 52 アジア各国・地域   経済統計   図書館資料サービス課

- 56 研究所だより

◆表紙写真：ラオス、ルアンプラバンの夕景（写真提供：裕林社、撮影：井上 孝）

◆本誌に掲載されている記事などの内容や意見は、外部原稿を含め、執筆者個人に属し、日本貿易振興機構あるいはアジア経済研究所の公式見解を示すものではありません。

# — アジ研図書館から新たな情報発信 —

アジア経済研究所図書館ではインターネットによるサービスの拡充・強化に向けて、これまでの研究所出版物や図書館所蔵の貴重資料等について電子情報で提供する、デジタルアーカイブス、機関リポジトリなどの構築を行っております。現在、以下のコンテンツにアクセスできますのでどうぞご利用下さい。

(詳細はホームページでご覧下さい。 <http://www.ide.go.jp/Japanese/Library/DI/>)

## 岸幸一コレクション

— 南方関係軍政・海軍資料を中心に —

[http://opac.ide.go.jp/kishi\\_collection/](http://opac.ide.go.jp/kishi_collection/)

アジ研初代図書資料部長であった岸幸一氏が収集した戦前の海軍資料、昭和研究会資料、南方軍政関係資料から構成されるデジタルアーカイブで、文書資料など約 1,100 件のデジタル画像にアクセスできます。



## 日本貿易振興機構アジア経済研究所学術研究リポジトリ

Academic Research Repository at the Institute of Developing Economies (ARRIDE)

<http://ir.ide.go.jp/dspace>

アジ研研究者の調査研究成果を発信します。

「アジア経済」、「The Developing Economies」などの雑誌論文、研究双書など単行書で発表した論文、新しいアイデアや知見を世界に向けて逸早く発信する Discussion Papers などのアジ研出版物のほかに、外部出版された論文などを地域別、分野別にご覧になれます。(現在、鋭意追加作業中です。)



## 発展途上地域地図目録

— アジア経済研究所所蔵 —

<http://opac.ide.go.jp/map/>

これまで収集してきた開発途上地域の各国、各地域の地形図など約 5 万枚について、州、省、県などの詳細単位で地図索引図を見ながら地図の所蔵状況が確認できます。



# —研究所だより—



中央研究院台湾史研究所副研究員) 他  
1名 9月26日  
\*カンボジア 〓 Dr. Vong Sam Ang (カ  
ンボジア政府首相府) 他1名 9月29  
日

▼アジア経済研究所賛助会個人利用会  
員募集中です。

\*年会費：一口 1万円

\*サービス内容：月刊誌『アジア研ワ  
ールド・トレンド』送付、講演会・セミ  
ナーなどのご案内、各種料金の割引な  
ど。

\*問合せ・申込先 〓 研究支援部成果普  
及課(賛助会担当)

TEL: 043-299-9536

FAX: 043-299-9726

▼『アジア研ワールド・トレンド』では、  
皆様のご意見、ご感想をお待ちしてお  
ります。

住所、氏名(ふりがな)、電話番号(F  
AX番号またはEメールアドレスでも  
可)をご記入の上、編集部へ郵使また  
はEメールでお送り下さい。

\*宛先

〒261-8545 千葉県美浜区若葉3丁目  
2番2 日本貿易振興機構アジア経済  
研究所『アジア研ワールド・トレンド』  
編集部

FAX: 043-299-9726

Eメール: [info@ide.go.jp](mailto:info@ide.go.jp)

▼次号の特集は「障害と開発」です。

▼出版物のご案内

●研究双書

\* No. 553 天川直子編『後発ASEAN  
諸国の工業化—CLMV諸国の経験と  
展望』三、〇四五円(税込)

\* No. 554 佐藤百合・大原盛樹編『アジ  
アの二輪車産業—地場企業の勃興と産  
業発展ダイナミズム』四、五一五円(税  
込)

▼最近の主な海外来訪者

\*英国 〓 Dr. Kevin McCormick (サセッ  
クス大学社会学教授) 〓 9月7日

\*韓国 〓 Mr. Park Sukhwan (朴錫煥  
駐日大韓民国大使館公使) 〓 9月13日

\*ラオス 〓 Ms. Khemmani Protsena (ラ  
オス大使館商工業省外国貿易局長) 〓  
9月21日

\*台湾 〓 Dr. Shuning Chung (鍾淑敏)

## 都心に「アジア研図書館サテライト」

アジア研図書館に来館できない方のために、赤坂アークヒルズのジェトロ  
・ビジネスライブラリー内にアジア経済研究所図書館サテライトを設置  
しております。  
どうぞお気軽にご利用ください。

### <主なサービス>

- テレビ電話による開発途上国関係資料に関するレファレンス
- アジ研図書館所蔵資料の閲覧(予約申込みが必要)
- 文献複写サービス
- アジ研出版物、講演会などのご案内

開館時間： 9:00~17:00

休館日： 土日・祝日・第3火曜日 年末年始

所在地： 〒107-6006 東京都港区赤坂1-12-3 アークヒルズ・アーク  
森ビル6階

TEL: 03-3582-1775 FAX: 03-3582-7014

URL: <http://www.jetro.go.jp/>

最寄駅： 地下鉄 六本木一丁目駅、溜池山王駅より徒歩1分

## 『アジア経済』 第47巻第11号

11月15日発売 1,050円(税込)

発展途上地域に関する理論機関誌  
論文、研究ノート、学界展望、書評、紹介等掲載

\*ご購入・お問い合わせは、成果普及課まで  
(電話:043-299-9735 FAX:043-299-9736)

## 『アジア研ワールド・トレンド』 第12巻第11号 通巻134号

2006年11月1日発行

編集・発行

日本貿易振興機構 アジア経済研究所  
研究支援部

〒261-8545 千葉県美浜区若葉3丁目2番2

TEL 043 (299) 9735 FAX 043 (299) 9736

<http://www.ide.go.jp>

印刷

広研印刷株式会社



—アジアきりえ紀行—

村長の母

ラオス

ラオスは初めての国。ビエンチャン上空までの深い緑の山並みやメコン川の流れなど、飛行機の窓からのパノラマも興味深いものでした。また、民泊した「ソップマー村」の高床式の生活が、すっかり気に入りました。風の通りも良く、快適そのものであり、朝一番鶏の元気な鳴き声を聞きながら村が活気づいていく様子は、私が幼いころの祖母の家で体験した朝と重なりました。その村長の母の明治生まれの女性のような凛とした姿に懐かしさを感じました。

(きりえ／解説・日本きりえ協会常任委員 坂部信子)